

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「250年の無牧師期間」

日本バプテスト連盟 奨学金担当理事 西島啓喜(帯広教会)



担当理事として奨学金委員会に派遣されて初めて委員会の働きを実際に見ることになった。委員会の働きは、奨学金支給と返還手続きという事務的な仕事のみならず、献身者の掘り起こしから神学教育担当者まで視野に入れた、広く伝道者養成の課題を考えており、委員のお一人お一人が時間と労力を捧げて奉仕されていることに頭が下がる思いです。

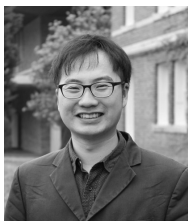
話は変わって、昨年11月、38年ぶりに来日されたローマ教皇フランシスコの東京ミサに参加する機会が与えられた。教皇に対する信者の熱い思いには圧倒され、日本のカトリック教会が総力を上げて取り組んでいる様子を見ることができた。ふと司祭席の一番後ろに立った神学生の姿に目が止まった。白い着衣、縄目の帯紐、それは迫害の時代の殉教者の姿と重なる。多分、その覚悟を象徴しているのだろうと勝手に想像した。フランシスコ・ザビエルが伝

えたキリスト教は禁教令・弾圧により約250年間潜伏を余儀なくされた。宣教師が追放され、いわば250年間「無牧師」で信仰と共同体を維持・継承してきた。そのために信徒が洗礼係や教会暦係としての役割を担い、オラショの祈りを伝え、子や孫に信仰を継承した。潜伏キリシタンの末裔の揺るぎない信仰からは、それがしっかりと生活化され受け継がれていることを感ずる。

北海道連合は4月から4教会(25%)が無牧師になる。北海道連合では無牧師期間が長くなる傾向がある。そして、この期間をどう過ごすかで教会形成のその後が変わる。肝を据えて「潜伏キリシタン」のように、信徒が「洗礼係」や「教会暦係」となり、「オラショ」を教えるはどうだろうか?(つまり信徒自らが神学を学び実践する)。そこに新しい伝道者養成の「パラダイム」が始まるような気がする。

「神学生証し」

西南学院大学神学部 博士前期1年 高橋周也
推薦教会：花小金井キリスト教会



0(ゼロ)!——新年度における西南神学生の入学予定者数としてこの数字を見ると(2/7現在)、やはり寂しさと今後への憂いを禁じ得ません。2019年度は神学寮長を務めましたが、寮も私の入学当時と比べると(といってもたった3年前ですが)、やはり随分こじんまりしてきました。しかしそれによって、神学生同士の交わりはますます互いにとって大切なものとなっています。未曾有の超少子高齢多死社会と言われる今日の日本社会の状況を反映しつつも、こうして全国諸教会の皆様のお祈りと励ましのもとに充実した学びを続けられておりますことに、神学生一同心よりの感謝を申し上げます。

私の学びは、自分自身の過去と今後の伝道牧会者としての使命に密接な関わりがあります。かつて高校生の秋の朝、私に聖書を手渡してくださったおじ

いさんがおっしゃったのは、「遠慮しないで」というたった一言でした。植物状態の父を抱え、誰かに助けを求めることや生きていくことに行き詰った暗い心に、聖書の言葉が光として射しこんできたのは、まさにその時でした。その後、2000年間受け継がれてきた福音は、小さな伝道所(当時)の一人一人が私を大切にしてくださったことを通して、確かに私にまで届きました。学びから、福音の喜びの味わいが深まっています。そして、今度は私もイエス様のご労苦を共にしたいのです。現在は、「死」に関することをキリスト教/教会教育で取り組むことを目指して、大学院の修士論文を準備中です。諸教会の皆様には、今後アンケート調査などをお願いすることがあるかもしれませんが、その際にはどうぞご協力をお願いいたします。

これからもご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

全国の教会・伝道所の壮年の皆様へ(全国壮年会連合事務局長 豊永義典)

2020年1月現在 神学生奨学金献金・会費の納入状況と、納入促進・期限内納入のお願い

地方連合名	神学生奨学金献金					連合会費				
	2020/1実績		前年同月		対前年額	2020/1実績		前年同月		対前年額
	金額	教会	金額	教会		金額	教会数	金額	教会	
北海道	405,356	10	519,280	11	-113,924	78,000	6	52,500	6	25,500
東北	418,772	13	517,127	14	-98,355	84,000	12	66,000	9	18,000
北関東	1,397,012	15	1,276,219	13	120,793	166,500	12	202,500	14	-36,000
東京	2,349,104	30	2,397,882	29	-48,778	306,000	15	261,000	16	45,000
神奈川	1,617,973	12	991,980	13	625,993	141,000	7	160,500	8	-19,500
西関東	310,804	6	336,031	5	-25,227	60,000	5	42,000	5	18,000
中部	419,597	7	489,174	8	-69,577	126,000	13	109,500	11	16,500
関西	780,783	18	691,133	16	89,650	97,500	7	73,500	7	24,000
中四国	760,540	16	771,342	16	-10,802	91,500	10	84,000	8	7,500
北九州	589,746	13	647,340	15	-57,594	46,500	6	76,500	9	-30,000
福岡	1,122,385	21	1,752,048	29	-629,663	180,000	15	210,000	17	-30,000
西九州	317,624	9	516,000	8	-198,376	39,000	3	27,000	4	12,000
南九州	499,370	14	627,183	16	-127,813	103,500	13	91,500	11	12,000
地方連合合計	10,989,066	184	11,532,739	193	-543,673	1,519,500	124	1,456,500	125	63,000
個人団体等	535,314	0	364,839	0	170,475	-	-	-	-	-
総計	11,524,380	184	11,897,578	193	-373,198	1,519,500	124	1,456,500	125	63,000

◎1月末現在、教会・伝道所の地方連合合計は前年比で神学校献金は▲543,673円(95%)です。

連合会費は、前年比+63,000円。教会数では、-1。会費納入人数は+42名です。

尚、期末に当たり、3月31日までに「ゆうちょ銀行」の所定口座に振り込まれたものを

計上することとなります。期限の厳守にもご協力いただきたく、あわせてお願い申し上げます。

2020年(第55回) 全国壮年大会 in 神戸 (ご案内) 関西地方連合壮年会

開催日・場所	2020年8月21日(金)~22日(土) 神戸教会、インドクラブ神戸
大会主題	キリストの愛により 違いを喜び、共生平和へ
大会聖句	そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男と女もありません。 あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。 (新共同訳 ガラテヤの信徒への手紙 3:28)
主題講師	【1日目】《調整中》飛田雄一氏 公益財団法人神戸学生青年センター館長。他に、NGO神戸外国人救援ネット代表、在日朝鮮人運動史研究会関西西部会代表、強制動員真相究明ネットワーク共同代表、「神戸・南京をむすぶ会」事務局長、関西学院大学非常勤講師、むくげの会会員など (魯孝錬(ノ・ヒョリャン)先生から、不都合(お断り)との連絡有(12/21)) 【2日目】咸光玉(ハム・クワンオク)先生 大阪中央バプテスト教会
宿泊について	検討中
実行委員会	委員長:永瀬 睦臣(神戸)、副委員長:稲川仁(宝塚)、チャプレン:西脇 慎一(神戸)、事務局:檜崎宣夫(田辺)・長尾知明(尼崎)、書記:西欣也(神戸)、講師担当:梶原美弘(大阪中央)、ツアー担当:古田晴彦(宝塚)、夕食担当:北村慎二(宝塚)、その他委員:豊蔵広泰(神戸西)・竹市正彦(神戸西)

新年度に向けたお願いです!

全国壮年会連合事務局長 豊永義典

昨年の壮年大会の総会で承認された変更点はニュース108号でお知らせしましたが、新年度が間近かになりましたので改めてお願いします。

1. 壮年会費の値上げ: **2020年度から会費を2,000円**とします。会費の500円の値上げにご理解頂くとともに、会費納入率(現在は会員の約60%)の向上と神学校献金の推進にご協力下さい。
2. 振込用紙の変更: 経費削減策として、会費や献金を送付していただく際の振込用紙を、新年度からこれまでの赤色(送金先負担)から**青色(送金元負担)に変更**します。青色の振込用紙を同封していますので、4月からの送金にはこの青色用紙を使用して下さるようお願い致します。
3. 新年度で**会計の担当者が交替される教会**もあるかと思えます。上記の事柄を含めて申し送りをよろしくお願ひします。
4. 2019年度の献金・会費の送金は、**3/31必着**でよろしくお願ひ致します。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務:月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp